

令和3年度 草津市健康づくり推進協議会		
日時	令和4年2月24日（木）午後1時30分～3時30分	
会場	Zoom オンライン開催・さわやか保健センター 1階 視聴覚室	
出席者	オンライン参加	大塚委員、北村委員、田中委員、近藤委員（副会長）、荒木委員、馬場委員、村防委員、山本委員、井上委員、〔計9名、順不同〕
	視聴覚室参加	末下委員、中島委員、中嶋委員（会長）〔計3名、順不同〕
	事務局	健康福祉部理事・山本、健康増進課長・松尾、同課参事・田附、同課課長補佐・小寺、同課副係長・廣政、同課主査・大槻、同課主任・中井、同課保健師・塩田、同課歯科衛生士・奥野
欠席者	委員	水村委員、南委員、小泉委員、堀田委員、島田委員、松村委員、林委員
会議資料		別添のとおり

次第1. あいさつ

皆さん、こんにちは。健康福祉部理事の山本です。

本日はご多用のところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日ごろから草津市の保健衛生行政に多大なるご支援御協力賜りまして、厚くお礼申し上げます。今年度は、コロナの影響もあり書面開催もありましたが、健康増進部会・保健推進部会、健康増進計画推進部会、また自殺対策推進会議を開催しまして、草津市の健康増進計画である健康くさつ21や市民の健康づくり、市の自殺対策について、これまで協議をしてきております。

本日は、事務局から各部会等で行われた協議内容をご報告させていただきまして、協議会委員の皆様からご意見を頂戴し、今後の市民の健康の維持増進につなげて参りたいと考えております。

限られた時間となりますが、ぜひ忌憚のないご意見を賜りますようお願いして、私の冒頭の挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

次第2. 会議の位置づけについて事務局より説明

次第3. 会長、副会長の選出

事務局：協議会会長及び協議会副会長の選出をお願いいたします。

草津市健康づくり推進協議会設置条例施行規則第7条により会長及び副会長は委員の互選によりこれを定めるとしておりますが、会長及び副会長の選出につきましては、いかがが取り計らいいたしましょうか。

委員：事務局の考えに一任したいと思っておりますけれども、いかがでございますか。

事務局：それでは、事務局一任とのご発言をいただきましたので、事務局案といたしましては、会長に草津栗東医師会所属の中嶋委員様、副会長に滋賀医科大学所属の近藤委員様をお願いしたいと存じますが、よろしいでしょうか。

ご賛同いただける委員の方はどうぞ挙手をお願いいたします。

委員：（一同賛成）

事務局：ありがとうございます。それでは、中嶋委員様に会長、また近藤委員様には副会長ご

就任をお願いしたいと存じます。

それでは、以降の司会進行につきましては、草津市健康づくり推進協議会設置条例施行規則第三条第2項に従いまして、中嶋会長をお願いいたします。

よろしく申し上げます。

会 長 : 改めまして、皆さんこんにちは。草津栗東医師会の中嶋です。本日は大変お忙しい中、御参加ありがとうございます。本日の協議会の開催にあたり、円滑な議事進行また活発な御討議につきまして、委員の皆様方の御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。早速ですが、議題を進めていきたいと思っております。

次第4. 報告と協議事項

①健康増進計画推進部会から 【令和3年9月2日～13日 書面開催】

・健康くさつ21（第2次）、第3次草津市食育推進計画の進捗状況について 資料2

・食育推進事業「草津ベジランチ」について 資料3

事務局 : 資料2・3について説明

会 長 : 今ご説明いただいた件につきまして、皆様のご意見をいただきたいと思っております。何でも結構です忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。

委 員 : このベジランチという取り組みを、私自身、初めて聞きました。今まで市で、或いはこの草津市内の飲食店で取り組まれていることを知りませんでした。

申し訳ないという気持ちもありますが、日頃から自宅にいる時間も少なく、昼間はほとんど自宅にいない生活状況なので、草津の市内の飲食店で食事をする機会が大変少ないです。

今後こういう取り組みを進めていく際は、もっと一般の市民に広く知ってもらえるような宣伝をされたら、さらに市民への利用に繋がると思っております。それから、“野菜をたくさん摂る”ということは、もっと常日頃頻繁に買い物に行くようなスーパーやコンビニ等でも啓発活動ができれば、もっと認識が深まるのではないかと考えております。

会 長 : 事務局いかがでしょうか。

事務局 : 啓発については、SNSの利用や、まちづくりセンター・観光案内所等での周知、健幸都市賛同事業所への周知等、可能な範囲で様々なものに取り組んできたところですが、市民の方、皆様へ情報を届けるのは難しいと感じております。委員の皆様の中で、効果的な周知の場がありましたら教えていただきたいと思っております。また、スーパーでの取り組みについて、コロナ前はエイスクエアのアルプラザにて、草津市産の野菜を使ったレシピを提供し、それを試食として提供いただき、購入の場も設けるような取り組みをさせていただきました。コロナ禍で難しい部分もありますが、アフターコロナに向けて、スーパーとの取り組みを検討していきたいと思っております。また、食育月間・食育の日の取組として、スーパーの野菜売り場で健康推進員と啓発を行い、多くの方への働きかけに繋がったので、今後も取り組みを進めていきます。

委 員 : 良い取り組みだと思っていました。草津市民の野菜摂取量を増やすにはどうしたらよいかということですが、ベジランチの店舗数を増やすというのも1つと思っておりますし、先ほどご意見のあったスーパーの取り組みもよいと思っております。レストランだと限られた人しか利用しませんが、スーパーの野菜売り場だと多くの方が利用されます。例えば、野菜売り場で野菜の重要性を掲示したり、野菜の料理例を350gとれるようなものを

示したり、スーパーだけではなく、若い世代が利用するコンビニ等でも同じように取り組みができればよいと思います。若い世代・学生世代は、野菜の摂取量が少ないので、例えば学食や社員食堂等でも取組ができるとよいと感じます。

委員：野菜について市からも色々周知されていますが、あおばな館まで行く時間がなく、近所のスーパーで購入することになります。平和堂で売っていることもあります。食べ方がわからないこともあります。クックパッドを見る人が多いので、それを活用するとよいと感じました。また、スーパーのお惣菜コーナーで野菜がたくさん摂れるものがあれば、大学生等にもハードルが下がり、食べることに繋がるのではないのでしょうか。ベジランチは今年参加しましたが、店舗数が増えればよいと思います。期待しています。

委員：商工会議所としては、コロナ禍で頑張っている飲食店を応援するという視点で関わっています。取組の告知もしていますが、負担の部分もあるので、どのようにすればよいかとは難しい問題と感じます。今後も食育の観点については、取り組みを見ながら、考えていきたいと思っています。

会長：あらゆるところでコロナの影響があって十分なことができないということがあると思います。

委員：健康推進員は、市民の一番近くで啓発活動をしなないといけないのですが、コロナ禍で調理実習が難しい現状があるので、レシピを作り、野菜と一緒に渡すような啓発を実施しています。先ほどより、若い人の野菜の摂取量が少ないことが課題と言われていますが、60歳前後の人は食べていると思います。足りていないのは働き盛り世代なので、企業の工場や学生の食堂でアピールする必要があるのではないかと感じました。

委員：私もベジランチを知らなかったし、利用したことがありません。外に出る機会のない、ネットやホームページを見ない人もいるので、皆さんに知ってもらえるような方法を考えないといけないと思いました。

会長：いかに周知するかということと、いかに店舗を増やすかということが大切と感じます。令和2年度と令和3年度で参加されているのは同じお店ですか。

事務局：同じお店もありますが、新しいお店にも入っていただいています。

会長：お店のメリットも大事ですね。参加店舗をどう増やすかと皆さんにどう周知するかですね。

委員：前に会議に参加した時にもベジランチの話を聞いていました。ベジランチの周知がやはり若い人へ広がっていないと感じます。市民の野菜の摂取量が増えたということがみえるとよいと思う。また、栄養士会と連携して、チラシを飲食店に置く取り組みや、コロナ禍なので、高校や中学校に野菜の重要性の話をする取り組みもメリットが多いと感じます。

会長：飲食店側のアプローチだけではなく、薬局にポスターを置く等色々なアプローチがかかるかもしれません。

②保健推進部会から 【令和3年9月15日～28日 書面開催】

・草津市歯科保健対策について 資料4

事務局：資料4について説明

会長：ただ今ご説明いただいた件につきまして、皆さんのご意見をいただきたいと思っています。

- 委員：歯周病に関していうと、若い人から幅広い年齢でかかるものです。中等度～重度の症状が現れるのが40～50歳代の特徴といえます。虫歯と異なり、短期間で進行するものではないので、市の節目歯科検診の始まる40歳代の前に、若い世代から歯科受診に繋がるような取り組みができるとよいと思います。
- 委員：若い世代の受診率が低いということですが、大学生や働く世代は、健診を年に1回受けられると思うので、その時に周知したり、オプションで歯科健診を受けられるようにする取り組みも可能だと思います。学生の中から歯科受診の大切さについて伝える講義などもできると考えます。
- 委員：歯科健診は、私も受けております。私の職場では20～80歳代の方が働いており、毎年1回は職場で健診を受けますが、その中で、歯の健診がありません。やはり歯は大事なので、歯の健診を受けられる機会が増えるとうよいと思います。資料の中に、80歳代の統計が出ていないので、可能であれば80歳代以上の方の統計もあるといいなと思っております。それから、老人クラブでは、毎月定例会をやっておりますので、この場を利用して歯科健診の啓発をいただけたら、大変よいと思います。
- 委員：保健所としては、職域での歯科保健の話とともに高齢者の歯科保健に重点をおいて取り組んでいます。その中で、職域での健診も大切ですが、高齢者の歯科保健の件では高齢者の集いの場で普及し周知していただいています。また、デイサービスで高齢者のオーラルフレイルの問題に取り組むことをお願いしたい。この会議では長寿いきがい課が参加されていないので、お返事いただくことができませんが、デイサービス等でアセスメントしていただいて、それに組み込んでいただきたいと思います。歯科医師会でも、在宅歯科連携室で高齢者オーラルフレイルの取り組みをされていますので、歯科医師会とも連携しながら、データヘルス計画にも関係していますし、取り組みを進めていただきたいと思います。保健事業と介護予防の一体的な取り組みの中でも進められるところだと思います。
- 委員：今の報告をきいて、40、50歳代の節目歯科健診を受ける人が少ないということですが、私たちの時代は悪いところがわかると病院に行く、歯が痛い歯医者に行くという年齢かなと思います。口腔衛生を意識して歯科医を訪れることは少ないと思います。やはり忙しいし、歯が痛いなど症状がないと歯医者にはいかない。歯が抜けたり、痛くなったり、歯からいろんな病気が起こるということを若い人たちに伝えていくことを考えていないといけないと思います。特定健康診査の時にビデオを視聴したりする等、様々な形で啓発を考えないといけないと感じました。
- 会長：若い人と高齢者へのアプローチの方法は別に考えていく必要があると思います。健診の重要性が高いことは間違いないので、歯科医師会とも協力して、さらに健診受診に繋がるような取り組みをする必要があると感じます。

③健康増進部会から 【令和4年1月25日～2月10日 書面開催】

・草津市糖尿病対策について 資料5

事務局：資料5について説明

会長：ただいまの説明報告を受けまして皆様からご意見をいただきたいと思います。

委員：国民健康保険運営協議会の委員として、この会議に参加しております。国民健康保険の医療保険者として、被保険者の健康管理や疾病予防、個々の生活習慣病に合わせた

保健事業を実施し、健康寿命の延伸と医療費の適正化を目指しております。草津市の国民健康保険事業推進計画(データヘルス計画)を平成30年度から令和5年度までを計画期間として策定し、取り組んでおります。その中で、特定健診並びに特定保健指導のことに付いて、運営協議会の中でその中間報告について、審議する機会がありましたので、その一端を紹介させていただきます。特定健診の実施状況、その受診率の推移は、平成28年度から令和2年度の5年間は、37.9%・36.6%・38.5%・39.3%・33.7%という数字です。

目標の受診率60%には届いていない状況です。そして、特定保健指導の実施率は、平成28年度から令和元年の4年間は、16.7%・18.2%、30年度は33.1%とその実施率が上昇しましたが、翌年の元年度はまた22.1%と下がっております。

そのような推移の中で、特定健診の受診率をまず上げることに取り込まなければならないと運営協議会の委員で一致したところです。

また特定健診の受診率の向上について、先般、明治安田生命保険と第一生命保険の2社の方と健幸都市づくりに関する協定を締結し、保険外交員にも協力いただきながら、特定健診の周知啓発や、アンケート調査を実施し、特定健診の受診率の向上をしていきたいと思っています。そして、保健指導の実施率の向上については、先ほど健康増進課の方からこの資料に基づいて報告をいただいたところですが、特定保健指導の委託や、実施場所の拡大、指導効果のフィードバックさらにはICTを利用した特定保健指導を進めることで取り組んでいくとデータヘルス計画の中間報告でも話がありました。

会 長 : 特定保健指導の実施率の市町のグラフを見ると、異なる制度を利用しているかのように差が大きいですね。何か他の市町の工夫等をまたぜひ教えていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。糖尿病あるいは重症化予防に関してはいろんな立場からのご意見あるかと思えます。

委 員 : 保健推進部会の歯の話と関係しますが、滋賀県薬剤師会では、歯周病の改善がHbA1cの改善につながるという研究結果を基に、糖尿病の方に歯科受診を勧めています。具体的には、糖尿病の服薬中やHbA1cが高い方に薬剤師会で作成されたチラシを配布し、歯周病と糖尿病が関係することを窓口でお話し、近くの歯科医院や関係機関に繋げています。このように、薬局は薬を渡すだけではなく、地域の健康ステーションになりたいと思っています。特定保健指導のリーフレットを置くことは、気軽にできると思うので、お声かけいただきたいと思っています。

会 長 : 糖尿病重症化予防に関しましては、滋賀県の重症化予防プログラムも平成30年から走っているということもあります。草津市は透析医療機関が比較的充実しており、また、特殊な診療科の状況もあるため、慢性腎臓病に関する医療費の割合が少し大きいのかなという事情はあるかと思えます。透析導入を少しでも減らしていく取り組みとしては非常に重要だと思いますので、医師会も歯科医師会も薬剤師会も連携をして、いろんな方向から、重症化予防に取り組んでいくべきと思っています。

次第5. 報告事項

令和3年度自殺対策推進会議について 【令和3年12月10日 開催】

事務局 : 資料6について説明

- 会長 : ただいまのご報告を受けまして、何かご意見等ございましたらいただきたいと思えますがいかがでしょうか。
- 委員 : 若い方の自殺の中には、いじめによる自殺もあるかと思えます。いじめについて、近年、学校では教員のなり手が減っており、多忙のため、いじめを把握していても対応できない状況があると新聞で読み驚きました。市の立場でも、学校教育ということに関わりがあるかと思えますので、注視しております。
- 会長 : 貴重なご意見をいただきました。
長い間ありがとうございました。事務局の方にお返ししようと思えます。
- 事務局 : 本日は、大変貴重な意見をいただき、ありがとうございました。本日は、ZOOM開催ということで、一部接続が悪くなるなどご迷惑をおかけする場面もありましたが、スムーズに会を進行することができ、中島会長様、近藤副会長様、委員の皆様方、本当にご協力ありがとうございました。本日いただいたご意見について、特に啓発が大切なところがある一方、難しい部分があると感じています。今後も、市民の方のご意見を聞きながら、関係機関の方と一緒に協働して啓発に力を入れながら進めていきたいと思えます。本日いただいた意見を含めて今後とも進めてまいりたいと思えます。次回の開催は来年度になります。時期は決まっていますが、次回開催時はコロナも収束しまして、皆様にお越しいただけるような状況になっていることを願っております。本日は長時間に渡りありがとうございました。本日の健康づくり推進協議会を閉会させていただきます。

以上